



NTTジャパンカップランキングイベント／ 第15回日本トライアスロン選手権東京港大会レース速報 女子は井出、男子は田山が優勝

井出、田山ともにジャパンカップとのダブルタイトルも達成

10月18日(日)、東京都港区台場の特設会場で、NTTジャパンカップランキングイベント／第15回日本

トライアスロン選手権東京港大会が開催された。

本大会は、日本選手権とNTTランキングイベントのシーズンチャンピオンの2大タイトルがかかっている

午前8時25分スタートの女子は、中島千恵(トーションパートナーズ・チームケンズ)が20分25秒でトップフィニッシュ。わずか20秒の間に佐藤優香(日本橋女学館高校)、高木美里(レオパレス21)、土橋茜子(トーションパートナーズ・チームケンズ)ら17人が入り、バイクに移った。

バイクに入ると、中島ら6名の第1集団が飛び出す。その後ろを、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、菊池日出子(チームプレイブ)、井出樹里(トーションパートナーズ・チームケンズ)、庭田清美(アシックス・ザバス)らを含む10名の第2集団が追いかける。その後第2集団が追いつき、最終的に15名で第1集団が形成された。上田が1時間25秒でバイクフィニッシュした。

ランでは上田、庭田、崎本、足立真梨子(トーション



砂浜を走り込んで始まるスイム



井出がランでの追い上げを見せた

井出 樹里

トーションパートナーズ・チームケンズ



スイムの出遅れは、よく分析して修正したい。練習してきた割にはバイクも脚を使いすぎた感じ。そのせいかランで出遅れた。後半は良くなると信じて走った。追いついてからは、負ける気がしなかった。

田山 寛豪

NTT東日本・NTT西日本／流通経済大学職員



タフなレースできつかった。スイム1周目で遅れ、スイムフィニッシュでは挽回したが、バイクでは山本選手と二人で先行できてずいぶん助けられた。ランでは最初からとばしたが、身体が軽く、いい走りができた。

JTU Official Partners & Official Suppliers



ンパートナーズ・チームケンズ)の4人が飛び出す
が、2周回目の初めに井出が追いついた。その後
崎本が遅れ、4名の競り合いは続いた。最後のビク
トリーロード手前で井出が抜けだし、2時間31秒の
タイムでフィニッシュ。日本選手権2連覇、2度目の
優勝を果たした。2位に足立、3位に上田が入った。

午前11時スタートの男子は、スイムを得意とする
平野司(大阪府協会)が18分36秒でトップフィニッ
シュ。田山寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通
経済大学職員)、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一
(グリーンタワー・稲毛インター)らが後を追った。

バイクでは、平野、田山、山本、細田が第1集団
を形成。6周回目で細田と平野が遅れ、後続の山
本淳一(稲毛インター)、福井英郎(トヨタ車体)らの
第2集団に吸収された。トランジションでは、田山と
山本が同時に先頭でランに移った。

ランでは、田山と山本は選考するが、2周回目には
いるところで田山が前に出ると、山本が遅れ初
め、その後距離は開いていった。そのまま田山が
独走し、1時間51分3秒でフィニッシュ。日本選手権
4連覇、6度目の優勝を果たした。2位は山本、3位
は細田だった。

また、NTTジャパンカップランキングのチャンピオ
ンは、井出、田山となり、ともに日本選手権とのダ
ブルタイトルを獲得した。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧にな
れます。



バイクで強さを見せる山本



田山と山本の一騎打ちになったが、田山が振り切った

足立 真梨子

トーンパートナーズ・チームケンズ



WCSのロンドン、横浜にかけ
ていたが両レースとも落車で
良いレースではなかった。この
ままでは終われないと思い、
チームのサポートもあって今年
の最終戦にいい結果が残せた
ことが嬉しい。

山本 良介

トヨタ車体



かなりしやすい。やはり1位以
外は敗者であることがよく分
かった。スイムもバイクもうまく
いったが、バイクで4名になっ
たのは良くなかったかもしれな
い。ランが走れなかったのは
努力不足。

JTU Official Partners & Official Suppliers

